

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公表番号】特表2003-529543(P2003-529543A)

【公表日】平成15年10月7日(2003.10.7)

【出願番号】特願2001-518407(P2001-518407)

【国際特許分類】

C 0 7 C 235/38 (2006.01)

A 6 1 K 31/195 (2006.01)

A 6 1 K 31/341 (2006.01)

A 6 1 K 31/351 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 C 235/40 (2006.01)

C 0 7 C 271/22 (2006.01)

C 0 7 C 323/59 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 235/38

A 6 1 K 31/195

A 6 1 K 31/341

A 6 1 K 31/351

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 35/00

C 0 7 C 235/40

C 0 7 C 271/22

C 0 7 C 323/59

C 0 7 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

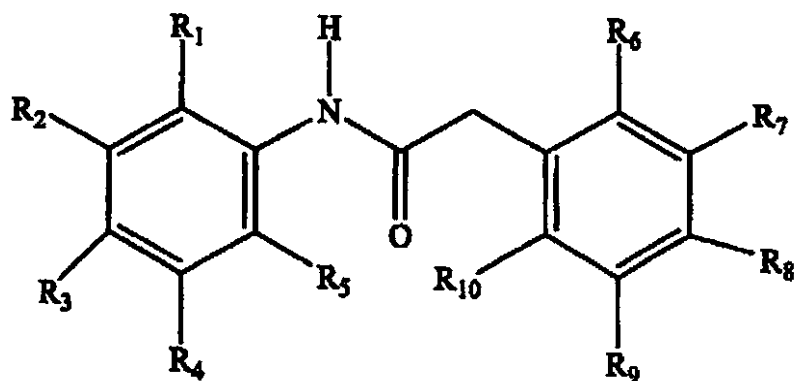
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

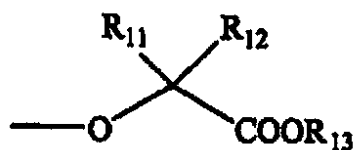
【請求項1】次の構造式、すなわち

【化1】



で表される化合物（式中、 $R_1 - R_{10}$ が C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} アルコキシ、 $R_1 - R_5$ の任意の二つを連結する炭素環、およびハロゲンから成る群から選択され、 $R_6 - R_{10}$ のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

【化2】



で表される成分で置換され、ここで、 R_{11} および R_{12} が R_{11} および R_{12} を連結する環状環の一部であり、当該環状環はアルキル置換五員環、アルキル置換六員環、アルキル置換ヘテロ原子五員環およびヘテロ原子六員環から成る群から選択され、

R_{13} が水素、無機カチオン、有機カチオン、金属カチオンおよびアンモニウムカチオンから成る群から選択される）。

【請求項2】 R_2 および R_3 が、 R_2 および R_3 を連結する五員炭素環を形成する請求項1記載の化合物。

【請求項3】 R_2 および R_4 が塩素およびメチルから成る群から選択される請求項1記載の化合物。

【請求項4】 R_{11} および R_{12} がメチル置換五員炭素環である請求項1記載の化合物。

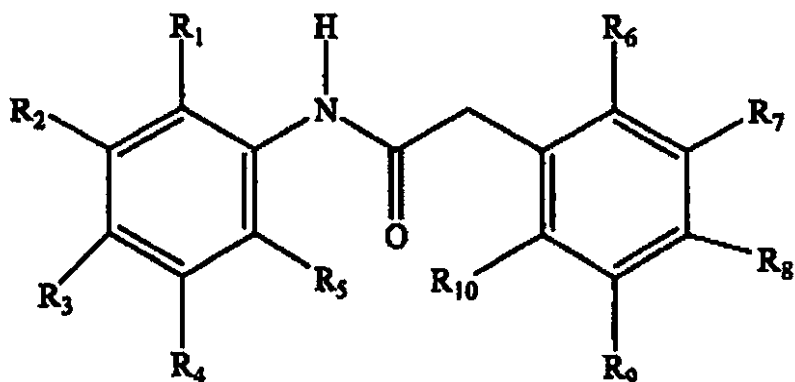
【請求項5】 R_{11} および R_{12} がメチル置換六員炭素環である請求項1記載の化合物。

【請求項6】 R_{11} および R_{12} がメチル置換環を形成し、ここで、当該環が炭素および酸素を含む請求項1記載の化合物。

【請求項7】 R_{11} および R_{12} が炭素および酸素を含む環を形成する請求項1記載の化合物。

【請求項8】次の構造式、すなわち

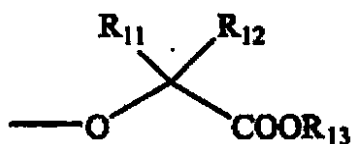
【化3】



で表される精製（+）異性体（式中、 $R_1 - R_{10}$ が C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} アルコキシ、 $R_1 - R_5$ の任意の二つを連結する炭素環、およびハロゲンから成る群から選択され、 $R_6 - R$

10のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

【化4】



で表される成分で置換され、ここで、 R_{11} および R_{12} が C_{1-5} アルキル、 C_{1-5} アルコキシ、水素、フェニル、アリールおよびハロゲンから成る群から選択され、 R_{11} および R_{12} が互いに異なっており、

R_{13} が水素、無機カチオン、有機カチオン、金属カチオンおよびアンモニウムカチオンから成る群から選択される)。

【請求項9】 R_2 および R_3 が、 R_2 および R_3 を連結する五員炭素環を形成する請求項8記載の化合物。

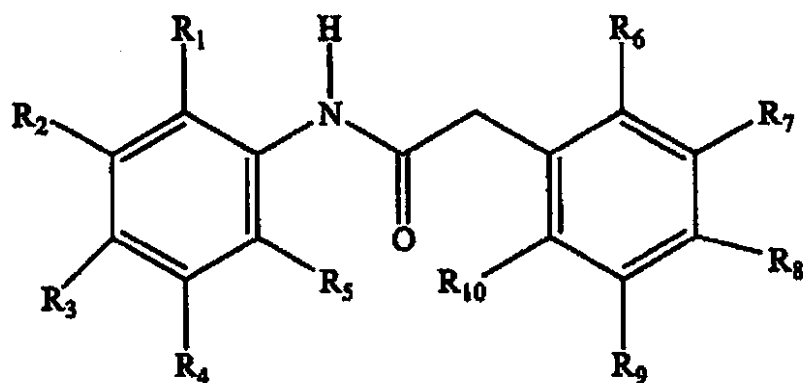
【請求項10】 R_2 および R_4 が、塩素およびメチルから成る群から選択される請求項8記載の化合物。

【請求項11】 R_{11} がHおよび CH_3 から成る群から選択され、 R_{12} がフェニルである請求項1記載の化合物。

【請求項12】 R_{11} および R_{12} がメチル、エチル、プロピル、メトキシ、水素およびフッ素から成る群から選択され、 R_{11} および R_{12} が互いに異なる請求項1記載の化合物。

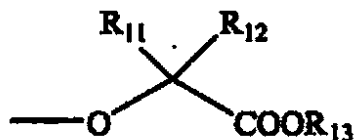
【請求項13】次の構造式、すなわち

【化5】



で表される精製(-)異性体(式中、 $R_1 - R_{10}$ が C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} アルコキシ、 $R_1 - R_5$ の任意の二つを連結する炭素環、およびハロゲンから成る群から選択され、 $R_6 - R_{10}$ のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

【化6】



で表される成分で置換され、ここで、 R_{11} および R_{12} が、 R_{11} および R_{12} を連結する環状環の一部であり、ここで、当該環状環が五員環、アルキル置換五員環、六員環、アルキル置換六員環、アルキル置換ヘテロ原子五員環、ヘテロ原子五員環基およびヘテロ原子六員環から成る群から選択され、

R_{13} が水素、無機カチオン、有機カチオン、金属カチオンおよびアンモニウムカチオンから成る群から選択される)。

【請求項14】 R_2 および R_3 が R_2 および R_3 を連結する五員炭素環を形成する請求項

1 3 記載の化合物。

【請求項 1 5】 R_2 および R_4 が塩素およびメチルから成る群から選択される請求項 1 3 記載の化合物。

【請求項 1 6】 R_{11} および R_{12} がメチル置換五員炭素環を形成する請求項 1 3 記載の化合物。

【請求項 1 7】 R_{11} および R_{12} がメチル置換六員炭素環を形成する請求項 1 3 記載の化合物。

【請求項 1 8】 R_{11} および R_{12} が炭素および酸素を含むメチル置換環を形成する請求項 1 3 記載の化合物。

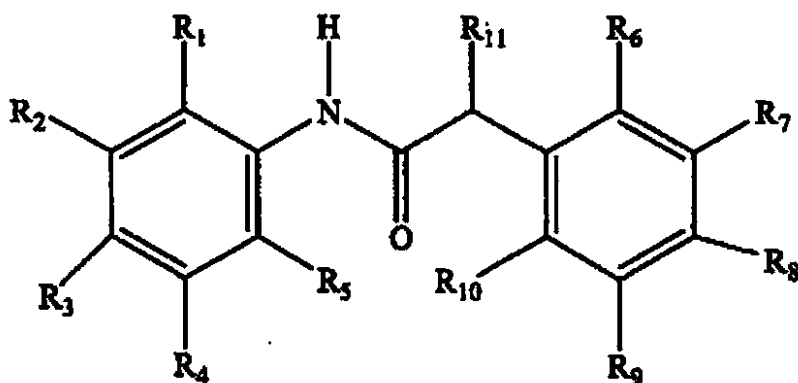
【請求項 1 9】 R_{11} および R_{12} が炭素および酸素を含む環を形成する請求項 1 3 記載の化合物。

【請求項 2 0】 R_{11} および R_{12} が五員炭素環を形成する請求項 1 3 記載の化合物。

【請求項 2 1】 R_{11} および R_{12} が六員炭素環を形成する請求項 1 3 記載の化合物。

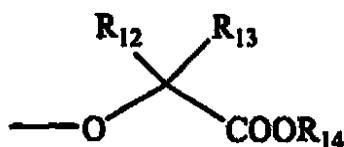
【請求項 2 2】 次の構造式、すなわち

【化 7】



で表される化合物（式中、 $R_1 - R_{10}$ が C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} アルコキシ、 $R_1 - R_5$ の任意の二つを連結する炭素環、およびハロゲンから成る群から選択され、 R_{11} が OH および C_{1-5} アルコキシから成る群から選択され、 $R_6 - R_{10}$ のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

【化 8】



で表される成分で置換され、ここで、 R_{12} および R_{13} が同一または互いに異なることができ、 C_{1-5} アルキル、 C_{1-5} アルコキシ、水素、フェニル、アリールならび R_{12} および R_{13} がを連結する環状環から成る群から選択され、当該環状環は五員環、アルキル置換五員環、六員環、アルキル置換六員環、アルキル置換ヘテロ原子五員環、ヘテロ原子五員環およびヘテロ原子六員環から成る群から選択され、

R_{14} が水素、無機カチオン、有機カチオン、金属カチオンおよびアンモニウムカチオンから成る群から選択される）。

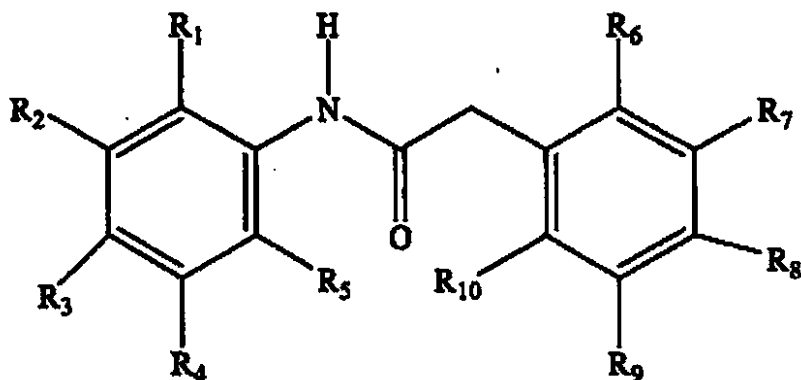
【請求項 2 3】 R_2 および R_3 が R_2 および R_3 を連結する五員炭素環を形成する請求項 2 2 記載の化合物。

【請求項 2 4】 R_2 および R_4 がメチルであり、 R_{11} が OH およびエトキシから成る群から選択される請求項 2 2 記載の化合物。

【請求項 2 5】 R_{11} が OH およびエトキシから成る群から選択され、 R_{12} および R_{13} がメチルである請求項 2 2 記載の化合物。

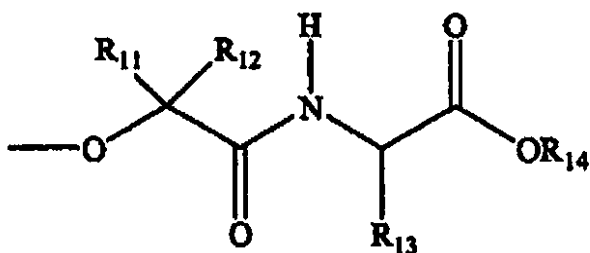
【請求項 2 6】 次の構造式、すなわち

【化 9】



で表される化合物（式中、 $R_1 - R_{10}$ が C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} アルコキシ、 $R_1 - R_5$ の任意の二つを連結する炭素環、およびハロゲンから成る群から選択され、 $R_6 - R_{10}$ のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

【化 10】



で表される成分で置換され、ここで、 R_{11} および R_{12} が互いに異なることができ、 C_{1-5} アルキル、 C_{1-5} アルコキシ、水素、フェニル、アリールならびに R_{11} および R_{12} を連結する環状環から成る群から選択され、当該環状環は五員環、アルキル置換五員環、六員環、アルキル置換六員環、アルキル置換ヘテロ原子五員環、ヘテロ原子五員環およびヘテロ原子六員環から成る群から選択され、

R_{13} がH、 CH_3 、 $CH(CH_3)_2$ 、 CH_2Ph 、 $CH_2CH(CH_3)_2$ 、 $CH(CH_3)C_2H_5$ 、 $(CH_2)_2COOH$ 、 CH_2COOH 、 CH_2 トリプトファン、 CH_2 インドール、 CH_2PhOH 、 CH_2OH 、 CH_2SCH_3 、 $(Me)_2SMe$ 、 $(CH_2)_3$ 、 CH_2SCH_2Ph 、 $CH(OH)CH_3$ 、 $(CH_2)_4NHOCOCH_2Ph$ 、および $(CH_2)_4NH_2$ から成る群から選択され、

R_{14} がHおよび C_{1-5} アルキルから成る群から選択される）。

【請求項 27】 R_2 および R_3 がメチルである請求項 26 記載の化合物。

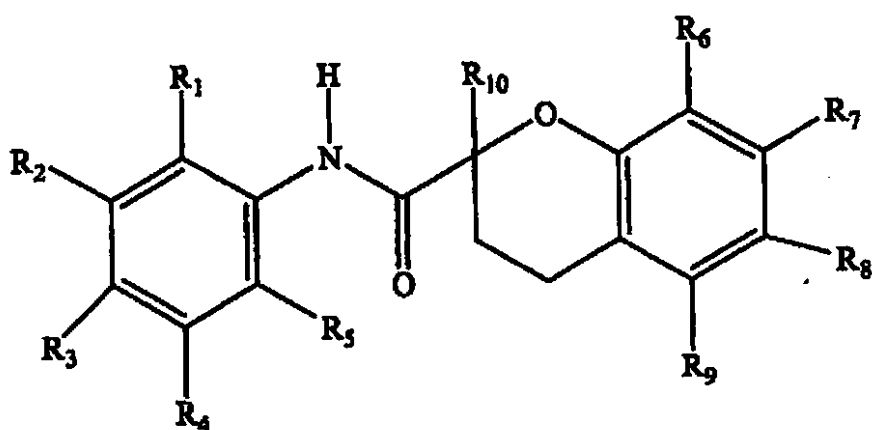
【請求項 28】 R_{11} および R_{12} がメチル置換五員炭素環を形成する請求項 26 記載の化合物。

【請求項 29】 R_{11} および R_{12} がメチルである請求項 26 記載の化合物。

【請求項 30】 R_{11} および R_{12} が五員炭素環を形成する請求項 26 記載の化合物。

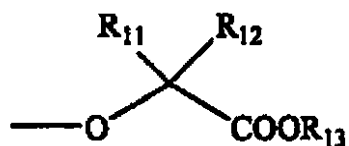
【請求項 31】次の構造式、すなわち

【化 11】



で表される化合物（式中、 $R_1 - R_{10}$ が C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} アルコキシ、 $R_1 - R_5$ の任意の二つを連結する炭素環およびハロゲンから成る群から選択され、 $R_6 - R_9$ のうちの少なくとも一つが、次の構造式、すなわち

【化 1 2】



で表される成分で置換され、ここで、 R_{11} および R_{12} が C_{1-5} アルキル、 C_{1-5} アルコキシ、水素、フェニル、アリールおよびハロゲンから成る群から選択され、

R_{13} が水素、無機カチオン、有機カチオン、金属カチオンおよびアンモニウムカチオンから成る群から選択される）。

【請求項 3 2】 R_2 、 R_4 、 R_6 、 R_7 および R_{10} がメチルである請求項 3 1 記載の化合物。